

愛知県感染症情報

Infectious Diseases Weekly Report

平成 18 年 24 週(6 月 2 週 6/12 ~ 6/18)

(作成) 愛知県感染症情報センター

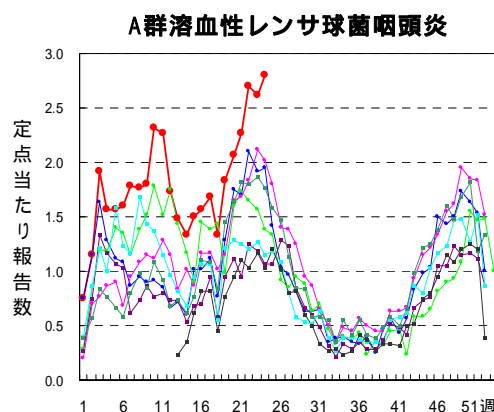
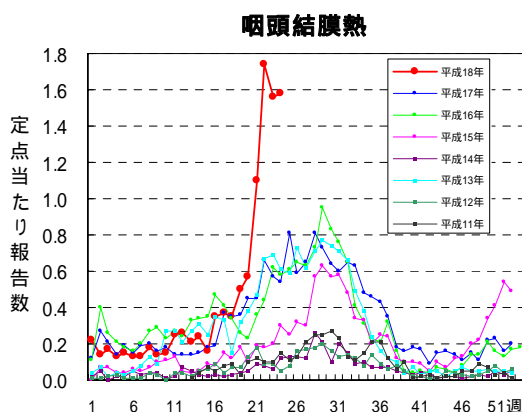
連絡先: 052-910-5619 E-mail: eiseiken@pref.aichi.lg.jp

今週の内容

- ・ 注意する感染症
 - ・ 定点医療機関コメント
 - ・ 全数把握感染症発生状況
 - ・ トピックス
 - ・ 感染症だより (6 月前半)
- ・ WHO 疫学週報抄訳
2006 年 6 月 09 日 (81 巻 23 号)
2006 年 6 月 16 日 (81 巻 24 号)
 - ・ 五類定点把握感染症報告
(保健所別、年齢別)

注意する感染症

- 1) **咽頭結膜熱** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/intou.html>)
第 24 週の定点あたり患者報告数は 1.58 人で、前週比 1.0 倍 (284 人 288 人) です。
- 2) **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/yourenkin.html>)
第 24 週の定点あたり患者報告数は 2.80 人で、前週比 1.1 倍 (475 人 509 人) です。



- 3) **手足口病** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/natsu.html>)
第 24 週の定点あたり患者報告数は 3.38 人で、前週比 1.1 倍 (568 人 615 人) です。
- 4) **伝染性紅斑** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/ringo.html>)
第 24 週の定点あたり患者報告数は 1.16 人で、前週比 1.7 倍 (127 人 212 人) です。
- 5) **ヘルパンギーナ** (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/herpangina.html>)
過去 8 年間の同時期と比較すると、定点あたり患者報告数は少ないが、第 16 週から増加傾向です。
第 24 週の定点あたり患者報告数は 1.85 人、前週比 1.6 倍 (215 人 337 人) です。

注意情報

5 月 25 日発表 (咽頭結膜熱・A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo0525.pdf>

6 月 8 日発表 (手足口病・伝染性紅斑)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/hodo0608.pdf>

愛知県感染症情報センター (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>)

その他の疾病のグラフについては「グラフ総覧」(<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>)を
ご覧下さい。

定点医療機関コメント（名古屋市除く）

尾張西部地区

溶連菌感染症、伝染性紅斑多くみられます。

【一宮市 あさのこどもクリニック】
マイコプラズマ気管支炎 12歳男
手足口病増加

【一宮市 後藤小児科医院】
病原性大腸菌O86a 7歳女
溶連菌感染症が増加しています。

【一宮市 城後小児科】
高熱の患者さんにエスプラインテスト
を施行するも全て陰性でした。

【一宮市 医療法人かすがい内科】
ヘルパンギーナもはじまりました。
A群溶連菌も続いています。

【犬山市 武内医院】

水痘、手足口病、伝染性紅斑、溶連菌感染症が目立っています。

B型インフルエンザ（中学1年女子）1例
ありました。

【岩倉市 医療法人なかよしこどもクリニック】
手足口病多発しています。
溶連菌感染症少なくなってきました。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】
62歳女 カンピロバクター及び病原性大腸菌(O6)(+)

31歳女、54歳女 カンピロバクター(+)
15歳男、3歳女、72歳男 マイコプラズマ肺炎

水痘の流行がまだ続いています。38歳男、33歳女も罹患しました。

【春日町 丹羽医院】

尾張東部地区

溶連菌感染症が多い。

アデノウイルス感染、水痘、ヘルパンギーナもみられます。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】
手足口病と水痘が増加。

溶連菌、ヘルパンギーナもみられます。
B型インフルエンザ（3歳男）1例あり
ました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】
まだインフルエンザB続いています。

【春日井市 春日井市民病院】
水痘、手足口病続発中。
溶連菌感染症、ムンプス少々。
ヘルパンギーナ、リンゴ病が出てきました。
13歳のインフルエンザ1例。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

42歳女 O25

【春日井市 竹内医院】

水痘、プール熱増加傾向。

【小牧市 小牧市民病院】
アデノ、伝染性紅斑、手足口病、ムンプス
などが目立ちます。

4S病も増えてきました。

【小牧市 志水こどもクリニック】
溶連菌が多いです。

【小牧市 医療法人心正会鈴木小児科】
手足口病、ヘルパンギーナ小流行

【東海市 小児科ハヤカワ医院】
アデノ 5歳男2名、6歳男、7歳女、3歳女
迅速テストで(+)でした。

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

1歳女、2歳女、4歳女、5歳男女、7歳男
StrepA (+)

1歳女 病原大腸菌(O74)

【豊田市 星ヶ丘たなかこどもクリニック】

アデノ陽性者5名

病原性大腸菌O1(+)
10歳女

手足口病・ヘルパンギーナが目立ってきました。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

アデノウイルス感染症、手足口病多いです。

溶連菌感染症、ヘルパンギーナ散見されます。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

アデノ(+)
3歳男、2歳女、5歳男、6歳男、5歳女、4歳男

【岡崎市 にいのみ小児科】

アデノウイルス感染症が多いようです。

カンピロバクター 32歳女性

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】

溶連菌感染症、アデノウイルス感染症、手足口病 います。

【碧南市 永井小児クリニック】

FluB (+) 14歳

【刈谷市 田和小児科医院】

インフルエンザB型

【安城市 厚生連安城更生病院】

溶連菌感染症の発疹はかゆみがないと言われる皮膚科の先生がいます。

【知立市 宮谷クリニック】

手足口病が流行しています。

【三好町 三好町民病院】

ヘルパンギーナが増加

【西尾市 やすい小児科】

62歳男カンピロバクター腸炎・病原性大腸菌O1(+)

【西尾市 山岸クリニック】

15歳女インフルエンザB

【西尾市 こどもクリニック宮地医院】

アデノウイルス感染症 6歳男、4歳女、1歳女、4歳女、3歳女、2歳女、2歳男、1歳男

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

2歳女 カンピロバクター

手足口病、ヘルパンギーナが増えました。

【豊橋市 医療法人こどもの国大谷小児科】

ヘルパンギーナが増えました。

【豊橋市 あずまだこどもクリニック】

2歳女 マイコプラズマ肺炎

5歳男 カンピロバクター腸炎

【豊橋市 医療法人野村小児科】

11歳男 川崎病あり。

【豊川市 豊川市民病院】

病原性大腸菌(O-1)男1歳と、(O-125)女0歳。

【豊川市 ささき小児科】

一 ～ 三類感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

<関連リンク> 届出基準 (<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedekijun060612.pdf>)

腸管出血性大腸菌感染症 (三類感染症)

番号	報告 保健所	年齢	性別	発病 月日	初診 月日	診定 月日	備 考
1	知 多	47	女	6 / 7	6 / 9	6 / 12	O157、VT1・VT2(+) <23週報掲載分・再掲>
2	春日井	37	男	6 / 8	6 / 9	6 / 13	O103、VT1・VT2(+) <23週報掲載分・再掲>

四類・五類(全数把握)感染症の発生状況

- 愛知県(名古屋市を除く。) -

つつが虫病 1例

デング熱 1例 (推定感染地域:インドネシア) <25週報告分>

ライム病 1例 (推定感染地域:アメリカ・コネティカット州、推定感染経路:ダニ刺咬)

レジオネラ 1例(75歳)

アメーバ赤痢 1例(推定感染地域:国内、推定感染経路:不明) <23週報掲載分・再掲>

後天性免疫不全症候群 1例(無症候期、推定感染地域:ブラジル、推定感染経路:性的接触)
<23週報掲載分・再掲>

トピックス

平成18年6月22日

インフルエンザ(H5N1)の指定感染症指定について

感染症法の改正(平成18年6月12日施行)により、インフルエンザ(H5N1)は指定感染症(全数把握)になりました。改正前においては、四類感染症の高病原性鳥インフルエンザ(A/H5、A/H7型)患者の診断等を行なった場合に届出が必要でしたが、改正後はインフルエンザ(H5N1)患者の診断等を行なった場合に、併せて指定感染症としての届出も必要となりました。

なお、インフルエンザ(H5N1)の公衆へのまん延防止の為、患者の就業制限や感染症指定医療機関への入院措置がとられることがあります。

届出基準、発生届の様式等は衛生研究所の「感染症の発生状況」のページ をご覧下さい。

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

梅雨入りしてはっきりしないお天気の毎日ですが、通勤で見慣れているあちこちの垣根や植込に季節にふさわしい紫陽花（あじさい）の花が思いがけなく豊かな色彩を見せてくれています。いつも貴重な情報を有難うございます。6月前半のまとめをお送りします。

- 1) 名古屋市内：名鉄病院福田先生からヘルパンギーナと手足口病が急増中で、重症例の入院が目立ち、咽頭結膜熱、溶連菌感染症も多いため感染症は多彩な状況で、B型インフルエンザが散発的にみられ、水痘は例年通りの増加傾向でマイコプラズマ肺炎の入院ほぼ一定、城北病院渡辺先生からは手足口病が少しずつ増加傾向で嘔吐が主体の急性胃腸炎はやや減少、発熱患者少し減少、伝染性紅斑が散発、カンピロバクターの垂直感染で髄膜炎発症し新生児集中治療室に収容を要した例あり、第二日赤岩佐先生からは水痘が散発、ムンプス髄膜炎の入院1人、千種区今枝先生からは感染症は少なく感染性胃腸炎と水痘が各1名、三菱病院入山先生からはA群溶連菌咽頭炎が5例、咽頭結膜熱4例と少し目立ち、水痘と感染性胃腸炎各1例で少なく、マイコプラズマ性気管支炎・肺炎の入院が6例でかなり目立ち、咽頭アデノウイルス感染の入院は1例、インフルエンザ陰性、アデノウイルス陰性で高熱の続くウイルス性の咽頭炎で入院の兄弟例あり、中京病院柴田先生からはマイコプラズマ肺炎の入院が少しずつ出ている、大同病院水野先生からはアデノウイルス感染症（6月になりかなり増加、結膜炎は必ずしも合併していない）、溶連菌感染症とマイコプラズマ肺炎が目立つとのことのお手紙でした。
- 2) 尾張地区：犬山市武内先生からはアデノウイルス感染症、A群溶連菌咽頭炎、カンピロバクターを含む感染性胃腸炎、水痘、手足口病、ムンプスがそれぞれ散発中、江南市昭和病院小児科からはA群溶連菌感染症、アデノウイルス感染症による入院が目立つ、常滑市民病院高橋先生からは溶連菌感染症、手足口病が目立ち突発疹もやや多くヘルパンギーナ、水痘が少々ありとのことのお手紙でした。
- 3) 三河地区：トヨタ病院木戸先生からは水痘とムンプスが多く、ウイルス性、マイコプラズマ性含め気管支炎・肺炎が多く、肺炎球菌性肺炎散在、刈谷市田和先生からは溶連菌感染症と感染性胃腸炎が少し目立ち水痘とヘルパンギーナが週数例程度、碧南市永井先生からはアデノウイルス感染症、水痘と溶連菌感染症、手足口病が目立ち、ヘルパンギーナが少し出始めた、豊橋市からは咽頭結膜熱、A群溶連菌感染症、水痘、ムンプス、ウイルス性気管支炎、無菌性髄膜炎などが目立つとのことのお手紙でした（豊橋市長屋先生、宮澤先生）。有難うございました。

愛知県衛生研究所企画情報部（文責 磯村）

2006 年 6 月 09 日（81 巻 23 号）<http://www.who.int/wer/2006/wer8123/en/index.html>

鳥インフルエンザ。インドネシアの近況：06 年 6 月第 1 週、インドネシア当局と WHO は H5N1 人感染が確認された患者の看護に従事し、インフルエンザ様症状を呈した 4 名の看護師の監視・追跡・検査結果を発表した：4 名全員、H5N1 感染は確実に否定された。これら 4 名のうち 2 名は、H5N1 感染が確認されている 18 歳と 10 歳の兄妹例（西ジャワ・バンドン、5 月 22 日入院、翌日死亡）を担当。2 名とも H5N1 感染は否定され、1 名は当時インドネシアで流行中の H1N1 感染であったことが判明。他の 2 名は北スマトラ、メダンの病院勤務、34 歳と 42 歳。H5N1 感染確定例の看護に従事。軽いインフルエンザ疾患に罹患したが H5N1 感染は否定された。これら 4 名の検査の迅速さと徹底さは当局の関心の深さを示しており、結果からはインドネシアでは人から人への感染は発生していないことが確認された。

世界のポリオ。05 年、06 年のポリオ患者届出数：国別の詳細な一覧表。06 年届出数で目立つのはナイジェリア 310 例（野生株患者 310 例）、ソマリア 21（21）、アフガニスタン 6（6）、パキスタン 3（3）、イエメン、バングラデシュ、ネパール各 1（1）、カンボジア 1（0）であった。

3 月 17 - 23 日届出（日付が古いのは届出が遅れたため）。コレラ：アンゴラ、カメルーン、ケニア、リベリア、ニジェール、ジンバブエ。

2006 年 6 月 16 日（81 巻 24 号）<http://www.who.int/wer/2006/wer8124/en/index.html>

鳥インフルエンザ。インドネシアの近況：6 月 6 日保健省発表。同国 49 例目の人 H5N1 感染確認例。15 歳男児。西ジャワ。発病 5 月 24 日、26 日入院、30 日死亡。発病の前週、病死した鶏と家庭内で接触あり。家族や接触者にインフルエンザ様疾患なし。同国の累積患者数 49 例（死亡 37）。鶏舎内 H5N1 感染封じ込め作戦進行中。今後も同様の例の発生は予測され、WHO と保健省の担当部局が動物対策を急いでいる。

コレラ。アンゴラの近況：6 月 6 日までに届出の累計 43,076 例（死亡 1,642 例）。6 月 5 日の 1 日だけで新規患者 280 例（死亡 8）。18 県中 14 県で発生、51% が首都ルアンダ。減少傾向にあるが毎日 200 - 280 例の届出。国家レベルの短期、中期、長期計画が承認され政府と WHO が実施中。

ポリオ。ナミビア（註：ナミビア。南アフリカ共和国の北隣、大西洋岸。人口約 203 万人。04 年国民総生産 5,921 ドル。02 年の平均寿命男性 43 歳、女性 44 歳。乳幼児死亡率出生千当り男児 70、女児 57）。06 年 6 月 7 日、34 例の急性麻痺届出、検査実施。患者は首都・ウイントクープ地区主体。3 例がポリオ 1 型野生株陽性。初発例は 39 歳男性、発病 5 月 8 日。多くが 20 歳以上で 7 例死亡。保健当局が対応中。同国では 1996 年からポリオフリーであり、今回の成人主体の発生の原因究明が進められている。遺伝子解析では隣国アンゴラからの輸入であり、インド由来と判明した。アンゴラでは 01 年からポリオフリーであったのが昨年インドからの輸入例が発生している。政府はポリオ 1 型単価生ワクチンの全国一斉接種を計画、6 月 1 日開始予定。通常の 5 歳以下小児対象ではなくて、全人口約 200 万人を対象。国際チームが支援予定。

ナミビアでは定期予防接種開始が1990年。今回の成人中心の流行の原因は不明であるが、小児期に未接種であったと思われる。現在のナミビアにおける定期接種率は地域により差があり、60 - 80%となっている。詳細は<http://www.polioeradication.org/>

メジナ虫(Dracunculiasis、別名ギネア虫。経口寄生虫感染症。中間宿主ミジンコ。感染後成虫が足関節など下腿下部の皮膚を破って尾部から産卵、取込んだミジンコに汚染された生水で感染。疼痛と運動障害で学習や生産活動に支障。基本的には安全な水供給)。根絶。大臣級国際会議が06年5月25日、世界保健会議(World Health Assembly)に際してメジナ虫感染16カ国(常在確認9カ国、未確認7カ国)の担当大臣出席で開催された。WHO、ユニセフ、カーター財団の代表も出席。目的は09年末における根絶を目標として04年5月19日に採択された宣言の進捗状況と問題点の討議。1)患者数の激減:89年に892,055名、05年には10,674と99%減。2)風土病的な常在国の数は80年の20カ国が05年には9カ国となった。3)うち7カ国は05年に発生なく、06年にはメジナ虫根絶確認委員会(ICCDE)による根絶宣言が期待される。4)根絶計画発足当時常在国であったインド、パキスタン、セネガル、イエメンを含む168カ国ではICCDEによる根絶確認がされている(05年における常在例と輸入例の国別グラフあり)。問題は05年の届出数が多いスーダン(5,569例)、ガーナ(3,977例)、マリ(656例)の3カ国であり、3カ国の出席者は09年における根絶のための努力を確約し、さらに出席者から人的物的資源の確保、適切な手段による安全な水供給、サーベイランス強化、国際協力、世界保健会議への定期的報告、の必要が強調された。

6月9 - 15日届出。コレラ：アンゴラ、リベリア、モザンビーク。

愛知県感染症情報

2006年第24週(平成18年6月12日～平成18年6月18日)(6月29日訂正)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	インフルエンザ(高病原性鳥インフルエンザを除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発疹	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ (成人麻しんを除く。)	麻しん (成人麻しんを除く。)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)	成人麻しん
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																					
愛知県 (名古屋市を含む)	195	182	35	51	13	3	43	287	509	591	513	612	211	137	11	2	335	0	170	4	21	0	1	13	0	0
愛知県 総数 (名古屋市は除く)	125	112	24	37	12	1	34	205	390	376	437	492	178	105	10	2	254	0	140	3	12	0	1	13	0	0
名古屋市	70	70	11	14	1	2	9	82	119	215	76	120	33	32	1		81		30	1	9					
尾張東部	瀬戸	9	9	2	3	1	1	10	21	27	23	45	9	8		16		5						2		
海部津島	津島	7	7	2	2	1		6	13	38	8	22	3	2		22		2		2				1		
尾張中部	師勝	4	4	1	1				11	14	15	12	21	1		28		6								
尾張西部	一宮	16	12	3	4	1		5	6	38	45	59	15	15		8		6		3						
尾張北部	春日井	9	9	2	3	1		4	18	18	48	49	18	9	1	9		19				1				
	江南	6	6	1	2			4	28	42	38	63	34	12		12		4		1						
知多半島	半田	6	6	1	2	1		20	28	8	35	23	15	8	6	1	14		7							
	知多	7	7	2	2			24	30	24	12	37	2	3		33		11		3						
西三河南部	岡崎市	11	7	2	2	1		6	39	30	41	48	14	12	3	1	24		4	3						
	衣浦東部	13	13	2	4	1		3	24	58	19	34	47	2	15		12		15							
	西尾	5	5	1	2	1		1	7	7	9	6	3	4		13		13		3						
西三河北部	豊田市	9	9	2	4	1			18	28	30	41	37	7	6		10		16				10			
東三河南部	豊橋市	12	8	2	4	1		5	2	21	45	40	23	14	5		32		15							
	豊川	9	8	1	2	1			16	23	53	47	21	21	5		21		16							
東三河北部	新城	2	2			1			1		1								1							

